

# 非行・犯罪行為に至った知的障害者を支援し続ける人のための 双方向参加型研修会2022（実践者研修会）

## トラウマインフォームドケアと組織マネジメント

感情の動きが分かりにくい。突然怒り出す。言うことが二転三転する。非行や犯罪をした障害者とかかわるなかで、当事者のこうした様子に戸惑うことがあるのではないのでしょうか。昨年度の本研修会では、そのようなときに「トラウマインフォームドケア（TIC）」の考え方を取り入れてみることを学びました。

今年度は「トラウマティックな経験をした人への支援」と題して、昨年度に引き続いてTICを取り上げます。個別支援と組織運営を題材とした支援現場からの実践報告、報告を受けての座談会をオンラインで開催するとともに、テーマ別グループワークを対面で実施し、より実践に即したTICについての理解を深めることを目指します。

### 基調講演

(昨年度配信)

#### トラウマインフォームドケア

～対象者と支援者・組織の安全を高めるアプローチ～

講師 大阪大学大学院人間科学研究科 准教授 野坂祐子 氏

### 実践報告

#### 現場からの報告：支援の現状と課題

講師 社会福祉法人大阪婦人ホームホーリーホーム 施設長 福越 直子 氏  
大阪府地域生活定着支援センター 所長 山田真紀子 氏  
国立のぞみの園/山口県立大学 参事/教授 水藤 昌彦 氏

実践報告では、支援の全体をコーディネートする役割、実際に日々の生活を支援する役割をそれぞれ担っている二人の支援者に登壇してもらい、TICの視点から見た支援の現状と課題についてお話しいただきます。聞き手がインタビューする形式で、それぞれの実践現場での様子や悩み、それらへの対処についてお聞きします。

### 座談会

講師 大阪大学大学院 人間科学研究科 准教授 野坂 祐子 氏  
立命館大学法学部 教授 森久 智江 氏  
社会福祉法人大阪婦人ホーム ホーリーホーム 施設長 福越 直子 氏  
大阪府地域生活定着支援センター 所長 山田真紀子 氏  
国立のぞみの園/山口県立大学 参事/教授 水藤 昌彦 氏

※参加者の皆様から事前にいただいた質問を手がかりにしながら、基調講演の内容をさらに深めていきます。

### 分科会

開催日程：令和5年2月10日（金） 9:30～16:00（受付9:15～）

会場：KITENA新大阪（大阪府大阪市東淀川区東中島1-18-5）

定員：各分科会20名（定員になり次第、締め切りとさせていただきます）

※分科会にお申し込みの方には、座談会コースがセットになっています。

	座談会コース		分科会コース
内 容	基調講演・実践報告	座談会	座談会コース＋分科会
開催方法	オンデマンド配信		集合研修
配信期間	令和5年1月16日（月）～ 令和5年3月26日（日）	令和5年2月20日（月）～ 令和5年3月26日（日）	
申込期間	令和4年11月14日（月）～ 令和5年 2月 28日（火）17時まで		令和4年11月14日（月）～ 令和4年12月23日（金）17時まで
資料代	3,000円（税込み）		3,000円（税込み）
払込期限	令和5年3月3日（金）		受講決定通知後にご案内致します

※お申し込み方法等につきましては、裏面をご参照ください。

開催日程：令和5年2月10日（金） 9:30～16:00（受付9:15～）

会場：KITENA新大阪（大阪府大阪市東淀川区東中島1-18-5）

定員：各分科会20名（定員になり次第、締め切とさせていただきます）

## 【第1分科会】 女性とトラウマ

水藤昌彦（国立のぞみの園/山口県立大学） 脇中洋（大谷大学）

前阪千賀子（大阪府地域生活定着支援センター） 佐々木茜（国立のぞみの園）

当事者による「問題とされる行動」。それはトラウマを体験した人が、その人なりに自分を取り巻く状況へ懸命に対処しようとした結果と捉えることもできるのでは？本グループでは、特に女性とトラウマの関係に着目しながら、架空事例を検討するとともに、参加者からの疑問について話し合います。

## 【第2分科会】 犯罪と被虐待—加害者性と被害者性—

西原実（大阪保護観察所） 福西毅（奈良保護観察所）

山崎康一郎（日本福祉大学） 大村美保（筑波大学） 清水康平（国立のぞみの園）

非行・犯罪行為のある障害者の中には、虐待や暴力、いじめなどの被害を経験している人も少なくありません。そうした対象者への保護観察や福祉における対応について、グループワークを通して考えていきます。特に、トラウマやアタッチメント、発達の視点から対象者との関係構築や介入方法について、皆様と討議や情報交換を行います。※グループワークで事例を受講者の皆さまから募集します。お困りの事例をお寄せください！

## 【第3分科会】 地域における多職種連携

原田和明（大阪手をつなぐ育成会） 木下大生（武蔵野大学）

益子千枝（兵庫県地域生活定着支援センター） 岡田裕樹（国立のぞみの園）

罪を犯した障害者の地域支援では、一般的な支援の実践と、罪を犯した人の特性に応じた支援の実践の両方が必要となります。複数の専門職が行う寄り添い支援によって、自立への自己決定を当事者に促すことが望まれます。このグループでは、入口支援において特に重要となる更生支援計画の作成を通じ、専門職の連携について実践的に学びます。そして、その学びを実際の支援に活かしていただきたいと思います。

※分科会にお申し込みを頂く際に、ご記入をしていただきますメールアドレスにつきましては、各分科会講師と共有させていただきますことをご理解ください。

### お申し込み方法



#### ▶ 申し込みフォームからお申し込みください

国立のぞみの園ホームページ<https://www.nozomi.go.jp/> > 養成・研修 > 研修のご案内 > 非行・犯罪行為に至った知的障害者を支援し続ける人のための双方向参加型研修会2022（実践者研修会） > 分科会コース（内容：基調講演・実践報告・座談会・分科会）または座談会コース（基調講演・実践報告・座談会）を選択してお申し込みください

申し込みフォームの受付最終画面にて、受付番号と払込口座のご案内をいたしますので、スクリーンショットなどで画面を保存することをお勧めします ※自動返信はございませんのでご注意ください

### お申し込み後の流れについて

- 配信開始当日に、お申し込みのメールアドレスに視聴URLをお送りします
  - 視聴ページURL送付後のキャンセルはお受けできませんので了承ください
  - ゆうちょ銀行備え付け払込取扱票の通信欄に（①受付番号、②受講者名、③住所、④振込者名）をご記入ください ※請求書、領収書の発行は行っておりませんので、払込時の受領証を大切に保管ください
  - 払込手数料はご自身でご負担をお願いします
- （注）分科会コースにお申し込みの方は、受講決定がいたしましたら、お申し込みを頂きましたメールアドレスに「受講決定通知」を送付致します。受講決定通知後に払込みをお願い致します。

※当法人および著作権者からの許可なく、資料の一部およびすべてを複製、転載、配布、印刷など、第三者の利用に供することは禁止いたします。また、録音、撮影等は固くお断りいたします